

米沢品質 AWARD



10月14日に行われた《米沢品質 AWARD2021》

の公開2次審査で、「青空保育たけの子」の『子ども
の眼の輝きを取り戻す野外保育』が他の3団体と共
に選ばれ、栄えある受賞となりました。この賞は挑戦
と創造を続ける米沢ブランド品質の向上に貢献する
団体に贈られるものです。

そして、審査後の総括で米沢市長が述べたように、
わたしたちが初めて「人」に対して受賞したたいへん
意義深いものとなりました。

◇申請の概要



青空保育たけの子は「野外保育」を原点に子どもか
ら大人まで育ちあえる空間を提供しています。子ど
もの時にしかできない「あぶない、汚い、ばかばかしい
(AKB)」ことを自然の中で思いっきりできる野外
保育を中心に、古来中国に端を発する自然哲学へ五
行説から取った五行(木・火・土・金・水)という万物の
元素を作るもの(の遊び)を体験できる環境作りと活
動を行っています。

モノが豊かになった日本。でも、子どもたちの眼は輝
いていると言えるでしょうか。若者が将来に夢を持て
なくなったと言われ、先進国の中でも青少年の自殺
率がロシアについて第2位(2016年現在)となっ
ており、それを裏付けているようです。

教育研究家 東京大学名誉教授 大田堯先生は「今の
子どもは失業中」であるといえます。子どもの仕事は
「遊ぶこと」だからです。

国立青少年教育振興機構の調査によれば、体験を通
して得られる資質・能力(体験の力)は、「自尊感情」
「意欲・関心」「共生感」「職業意識」「規範意識」「人
間関係能力」「文化的作法・教養」の7つであるとし
ています。そして、体験の差は学力にも現れてくるこ
とです。

札幌医科大学医学部脳神経科講師 鶴飼渉先生は
その講演の中で、「自然(活動)が心の病の発症を未
然に防ぎ、強くて柔軟な心を育む」と言っています。

◇外部の評価



以前からマスコミに注目されてきた当園の野外保育
ですが、2021年は5月に放映されたTUYさんの
ローカル魂「やまがた桜物語3」、6月に放映された
ZETEX 山形やままる「地域に支えられる野外保育」と
連続して取り上げていただきました。特にZETEX山形
さんには「コロナ禍の中野外保育が注目を集めていま
す」と紹介していただきました。

前年度関わりをもった保護者の方からは「私の周り
で、誰に話しても羨ましがられるこの環境に巡り会
えた縁に感謝しかありません。」「たけの子の良さは、
いろいろなものに対するチャレンジのハードルを下
げてくれること、親も気軽にその空間に参加できる

こと、と感じています。」「住民票が県外のおそ者を入
れてくれる保育施設はたけの子ただ一つ。そんな理
由で一時保育でお邪魔したけの子に出会い、野外保
育も素晴らしいと思ったのもあるけど、自由に、子供
のやりたいことを尊重してくれるところが一番好き
になって米沢に残る事にしました。」等の感想をいた
だいています。

◇今後の計画



関係人口を増やし、年齢・地域を超えた新しいコミュ
ニティをつくるのが最終目標です。『崖の上のポニ
ヨ』の舞台になったところのように、保育園のとなり
に老人ホームが隣接しているような、大人も子ども
も、そして様々な違った立場の人たちが一緒に集い、
笑顔になれる場所をつくりたいのです。米沢には「三
者」という言葉があります。「よそ者」「若者」「バカ者」
のことで、地域をつくるのはこの三者なのだそうです。
わたしたちはこの「三者精神」で新しいコミュニティ
をつくり、子どもたちが夢を持ち、実現できる社会
を共に作っていきます。

さらに、今後はこの野外保育をメソッドとして体系
化し、東北に広めていく計画です。

⑤ 12月11日(土) 10時半〜12時

『東北発！ 野外保育をはじめよう！』導入編

今後、基礎編・応用編と続きます。